

誰もが学びやすい手厚い給付金&研修料

# 最大165万円(年間)の給付金!

最先端の林業が学べる環境を兼ね備えた本校研修料は年額なんと約13万円(税込)という低額設定! どなたにも負担が少なく1年の学習に安心して取り組んでいただけます。

研修料/年額130,680円(税込) ※別途、教材費などの購入費200,000円程度

高知県立林業大学校では、1人あたり最大165万円(年間)の給付金を支給する支援制度を整備しており、研修生は安心して研修に専念することができます。

給付金制度には要件があります。詳細については、お問い合わせいただくか、「高知県緑の青年就業準備給付金事業について」のホームページをご覧ください。

高知県緑の青年就業準備給付金事業について

高知 緑の青年 検索

就職も全力でサポート!

# 就職率100%

就職についても研修生一人一人の希望に合わせてきめ細かな就職支援を実施しています。また、インターンシップによる職場体験も積極的にを行い、全ての卒業生が、木造建築関係の仕事に就くことができました。

主な就職実績

伊与田建築設計事務所、HF設計、オークヴィレッジ㈱、㈱高知中央ホーム、㈱隈研吾建築都市設計事務所、㈱熊沢構造設計事務所、NPO法人サウンドワッズ、シュウハウス工業㈱、㈱沖建築工房、杉耕社、㈱トラスト建設、㈱中成建築設計事務所、濱田創業、㈱風標社、㈱藤川工務店、㈱フタガミ、㈱細木建築研究所、㈱山本設計、㈱若竹まちづくり研究所



高知県立林業大学校

Kochi Prefectural Forestry College

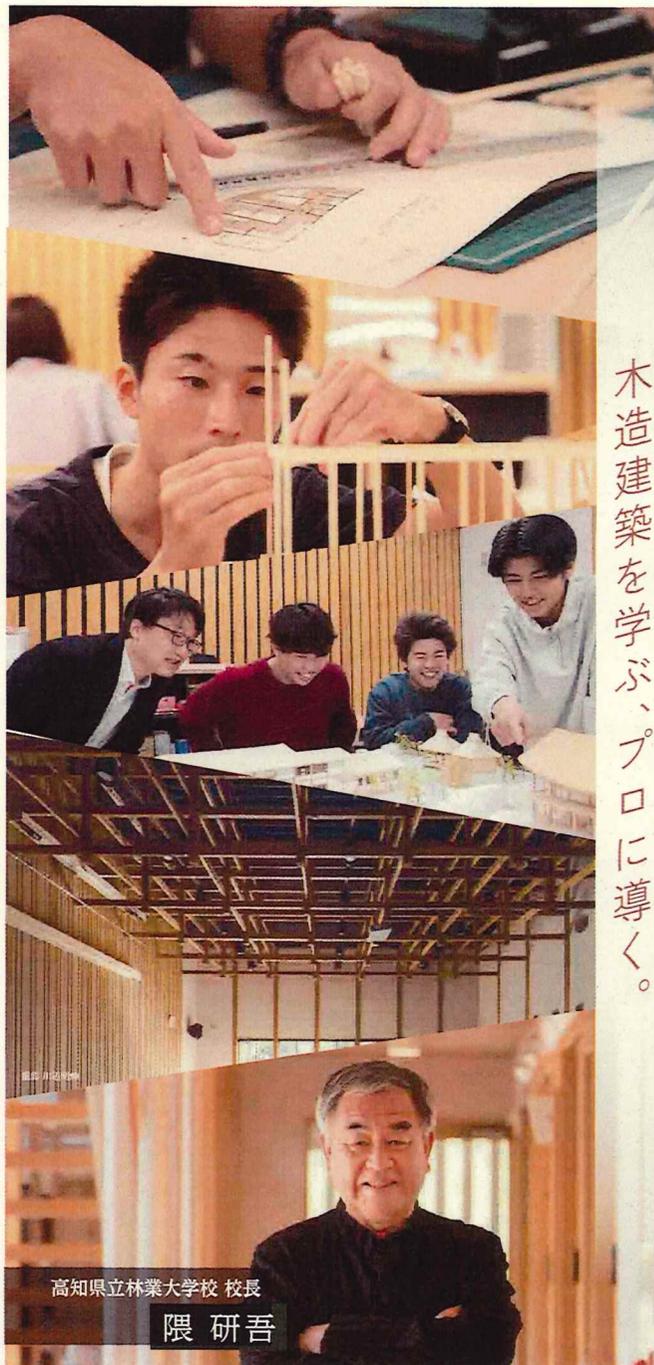
Tel.0887-52-0784 Fax.0887-52-0788  
<https://kochi-forestry.ac.jp>  
 E-mail:030208@ken.pref.kochi.lg.jp  
 〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平80



研修期間や定員、受講申請方法などを詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。

高知県立林業大学校 検索

SNSもチェック!  
 研修の様子などを紹介します



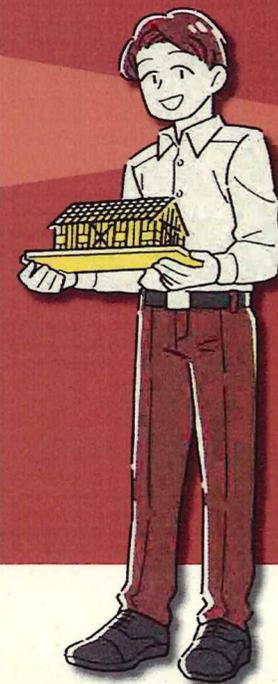
高知県立林業大学校 校長

隈 研吾

木造建築を学ぶ、プロに導く。

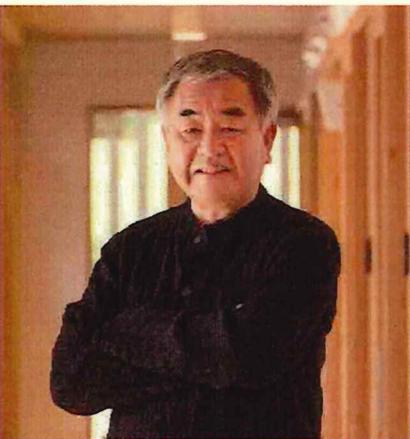
専攻課程

# 木造設計コース



高知県立林業大学校

Kochi Prefectural Forestry College



高知県立林業大学 校長 隈研吾  
Kengo Kuma

# 木の時代を 導く力。

林業を再生し活性化する  
プラットフォームで  
思想と技術が出会う。

私が初めて手掛けた本格的な木造建築は、「木を全面的に使って欲しい」という要望に応じて設計した高知県梅原町の「雲上のホテル」です。最初に梅原町を訪ねたのは30年前で、以来、幾度となく高知県を訪れ、そのたびに感銘を受けました。人々の暮らしと森がこれほど深く、温かくつながっている地域は世界でも希ではないのかと。

森林が県上の84%を占め、林業の中心地とも言える高知県で学ぶということは、非常に意味のあることだと思っています。周囲の森と一体になったこの素晴らしい環境に立地する本校は、高知県が林業・木材産業をいかに重要視しているかの象徴です。私が校長就任時に掲げた「林業を再生し、活性化するプラットフォーム」というビジョンは、すでに形になりつつあります。木に関する多様な領域を合わせるプラットフォームは、世界から見ても非常に貴重な存在であり、本校から巣立った人材は、高知県のみならず、日本全国、そして世界の「木の産業」にとって、重要な人材となります。21世紀は木の世紀、木の時代が来る、私は予測してきました。本校で学ぶ人は木の時代のリーダーになれる人だと思っています。木の時代を担っていく人材という自覚を持って、互いに切磋琢磨していただきたい。志を持った皆さん、日本の高知県の森で、共に学び、成長していきましょう。



雲上のキャラクター（高知県梅原町）

## 学校概要



### 高知県立林業大学とは

森林率日本一の高知県で、林業、木材産業、木造建築の各分野で基礎から専門的な技術までをしっかりと学べる学校です。高知県の林業を担う素晴らしい人材を育てることを目的として、平成27年4月に高知県立林業学校として先行開校し、平成30年4月に専攻課程を加え、高知県立林業大学校として本格開校しました。

## 高知林大 木造設計 コースの強み

### 1 強み 林業の担い手と学ぶ 高い価値

植栽から間伐、製材など、林業系のカリキュラムも実習として学びながら、森の重要性を理解し、建築材料として木材を使う意義を学びます。



### 2 強み 木造特化型の 深い学び

単に構造だけでなく、実習・実験から木材の特徴を知る事が出来るのが本校ならではの。第一線で活躍する講師陣のもと、小規模から中大規模まで木造設計を奥深く学べます。



## 木造設計コース紹介

### 目指す人材像

森林の重要性を知る  
木造建築の未来を拓く  
プロフェッショナル

### 卒業後の活躍の場

設計事務所  
工務店 など



木造建築の未来を拓くプロフェッショナルへ



### 入校資格

- 建築士の資格を有する者
- 高校や専門学校、大学等で建築やインテリアデザインを学んだ者 など
- 年齢 — 18歳以上
- 研修期間 — 1年(1,200時間程度)
- 定員 — 10名
- 研修料 — 年額130,680円(税込)

※別途、教科書・安全防具・作業服などの購入経費200,000円程度

### 専攻課程共通科目

植栽から伐採まで、森を知ることで木造建築の意義を深める。

森林・林業経営や森林の持つ多面的機能、木材利用など幅広い知識を習得できます。「木造設計コース」の受講生にとっては、森林文化や森林の重要性、さらには植栽から伐倒などの造林作業を学び、実践することにより、建築材料として木材を使う意義、木を活かすことの重要性を学ぶことができます。

森林・林業経営概論

鳥獣被害対策

造林学・実習

労働安全衛生

森林文化・多面的機能学

救急法講習

木材利用学

特別活動

木材コーディネーター

インターンシップ

地域公共政策

課題研究



# 木造設計コース

## 専門科目

### 林大ならではの奥深い木造建築学!

設計だけでなく、実習・実験から木材を知る、奥深い木造建築学。

#### 木質構法概論

林業や地域社会、歴史等の様々な視点から、木造建築の意味や役割を考え、理解を深めます。具体的な構法各論、積算、模型製作を通じて木造建築を設計するための基礎知識を身につけ、高知県特有の材料や工法について学びます。



#### 設計・製図

基本的な製図方法を習得し、さらにCAD、3D-CGを活用した設計手法を身につけます。講師の指導の下でエスキスを重ねることにより、住宅から中大規模木造までの設計手法を習得します。様々な製図、表現スキルを駆使してプレゼンテーション能力の向上を図り、第一線の建築家の創作活動から設計行為の本質を学ぶことが可能です。



- 1 基礎：遍路小屋など
- 2 小規模木造建築物：戸建て住宅
- 3 中大規模木造建築物：道の駅など多用途建築物
- 4 応用演習：家具などの即日設計や木造建築物のリユース、リユーズなどの設計手法

#### 環境性能・耐久性設計

建築物に求められる温熱環境（断熱性能・省エネ性能）や遮音性能などの環境性能と、木造建築において特に考慮すべき腐朽・シロアリ対策などの耐久性設計について学び、エコハウス、木橋などの事例見学も行います。



#### コミュニケーション学

建築をつくりあげていくプロセスにおいて求められるコミュニケーション能力、プレゼンテーションスキル等を講義と実践的なワークショップによって学びます。



#### 木質構造設計

木造工法の種別を理解するとともに、住宅から非住宅、更には都市木造に至るまで幅広い分野での安全な木造建築物の設計に必要な構造計画、構造設計手法、構造計算等について学びます。また、耐震診断や耐力壁の考え方についても学習します。



#### 木造防耐火設計

木造建築物における火災発生メカニズムを学び、防火・耐火に関する基本法令や安全設計の考え方、また木材を現して表現する手法など、特に中大規模木造建築物を設計するうえで必須となる防耐火設計の知識を身につけます。

実際の授業を動画でチェック!



#### 建築法規

建築物を正しく設計するうえで不可欠な建築基準法、また建築物を安全につくって利用するために必要とされる構造や耐震に関する法規、設備や適正な性能・品質を確保するための関連法令の概要について学びます。



#### 木造建築施工

伝統工法や在来工法をはじめとし、集成材から最新のCLTまで木造建築物の設計や様々な施工方法・施工上の要点等について学び、適切な監理を行うことのできる知識を身につけます。また、現役で活躍されている大工からも施工技術の実践を学びます。



#### 木材利用特論

木材の流通や規格を学び、コストコントロールや木材の効率的な利用方法を習得します。材料費、加工費、運搬費等、木材の価格決定メカニズムについて理解を深め、山側に適正な利益を還元することで持続的な林業を可能とする手法について学びます。



#### 木材加工・自力制作/材料実験・測量

木材の基本的な性質性能、集成材等の加工方法を学びます。耐力壁を設計制作することで木材の性能、加工方法を学びます。ヤング係数や含水率の測定等の実験を通じて木材の持つ性質の理解を深めます。



#### 卒業設計

自分で課題を設定し、設計コースの最終成果物として取り組みます。



